

学ぶとは、考えるとは。

## Handai-Asahi 中之島塾

朝日カルチャーセンターとの共同講座。入会金は不要です。大阪大学の第4キャンパス、大阪大学中之島センターで開講します。知識を吸収しながら問題を発見し考察する力も養います。

- 会場／大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）
  - 定員／各講座により。随時受付中ですのでお問い合わせください。
  - 申込先・問合せ／朝日カルチャーセンター
- TEL.06-6222-5224**
- 主催／大阪大学 21 世紀懐徳堂、朝日カルチャーセンター

### ●SPレコード音源に聞く明治・大正時代の上方落語

金水 敏（大阪大学大学院文学研究科教授）  
 ゲスト：高島幸次（大阪大学招へい教授）  
**3月30日（土）14:30～16:00**  
 受講料 1,620 円

20世紀初頭に実用化されたSPレコードには、落語、講談、浪曲等、当時のさまざまな話芸が収められています。録音時間の短さや音質の悪さなど制約も多いですが、何より、往時の口演が生々しく再現されるという点で興味が尽きませんし、今日の落語界に繋がる歴史の糸がくっきりと蘇ります。講座では、金水氏が研究用に所持するSPレコードの落語音源を皆様とじっくり聞くとともに、『上方落語史観』で知られる高島氏をゲストに迎え、楽しい解説で上方落語の歴史をたどります。また江戸・東京落語の音源も、時間の許す限り併せて聞いていきましょう。

### ●スーパーフードの効用と健康長寿

山口明人（大阪大学産業科学研究所特任教授）  
**4月13日（土）10:30～12:00**  
 受講料 1,620 円

今話題のスーパーフードは、肉食に偏った米国の食生活の見直しから出てきた概念で、体に良い栄養成分が特に豊富に含まれている野菜、果実、海産物などを指します。日本の食生活では普通に食されているものであり、そのまま取り入れてもあまり大きな意味はありません。そのため、日本でのスーパーフード・ブームは新参者のサプリメントのような販売方法がとられています。しかし、スーパーフードの考え方は、日本の食生活に即した取り入れ方をすれば、健康長寿に大きな意義があります。本講座では、スーパーフードの歴史と思想、日本の食生活に即した効能・効用を解説し、美味しくスーパーフードを食するための実践的な調理法まで紹介します。

### ●怖い動脈硬化にならないためには？一脂質異常症とメタボを治そう！

山下静也（地方独立行政法人りんくう総合医療センター 副理事長・病院長）  
**6月2日（日）13:30～15:00**  
 受講料 1,620 円

心筋梗塞や脳卒中は突然命を落とすこともある怖い病気ですが、そのもとになるのは動脈硬化です。動脈硬化になりやすくさせる生活習慣として、喫煙、運動不足がありますが、脂質異常症、高血圧症、糖尿病などの病気が有名です。今回の講座では動脈硬化にならないために、特に脂質異常症とメタボについて、どのようにすれば防げるのか、また改善できるのかについてお話したいと思います。

### ●生き方死に方と在宅医療を考える

山中浩司（大阪大学大学院人間科学研究科教授）  
**6月16日（日）10:30～12:00**  
 受講料 1,620 円

高齢になると医療との付き合いが増えます。薬も増えれば入院も増えます。長生きしたくない、病院で寝たきりはいや、という人は多いですが、私の身近な例で考えても意外と人は簡単に入院します。理由は「元気になってから死にたい」です。もう一つの理由は「家族の負担」です。在宅医療が普及するとどうなるでしょうか。入院は減るでしょうか、家族の負担はどうでしょうか。医療の適切なあり方使い方をみなさんと考えたいと思います。



### ●「死後の世界」と東西文化の交流ー日本の冥界観はどこから来たのか？

荒川正晴（大阪大学大学院文学研究科教授）  
**6月16日（日）15:00～16:30**  
 受講料 1,620 円

古来、人は死後の世界のことをいろいろと思いついてきました。ただ何故か、民族や宗教・文化の違いを越え、人々の死後のイメージには共通しているところがあります。たとえば、極楽と地獄の存在だけでなく、死後に現れる三途の川や閻魔さまなどは、少なくとも東アジアでは広く共有されています。ただ、それはどこから来て、どのようにして形成されてきたものなのでしょうか？この講座では、中央アジアや中国の墳墓より出土した文字・画像資料を用いて、この問題について考えてみたいと思います。

### ●古代語の謎を解く

蜂矢真郷（大阪大学名誉教授）  
**6月30日（日）13:30～15:00**  
 受講料 1,620 円

日本の古代のことばについて、形や意味を変えたりもしながら現代でも用いられているものを中心に、その語の成り立ちや由来を考えます。あまり根拠のない語源説のようなものではなく、国語学の、語構成を研究する立場から、いろんな語の表すところに迫ります。多くの語を合わせて比べてみると分かってくることもあります。分かりにくいことに迫る時には謎解きのようなおもしろさが、その由来に迫る時にはルーツを探るようなおもしろさがあるでしょう。（取り上げることばは毎回変わります）

Handai-Asahi 中之島塾 **検索**

共通テーマで大阪と京都を掘り下げる。

## 大阪・京都文化講座 2019 年度春期

大阪大学大学院文学研究科・大阪大学 21 世紀懐徳堂・立命館大学文学部の共催講座。大阪・京都の自然・風土・地誌・都市空間について考え、今後の課題・問題点についても提起します。今期のテーマは「大阪・京都＜偉人伝＞古代・中世編」です。

- 会場／立命館大阪梅田キャンパス（大阪富国生命ビル 5 階）
- 定員／各回 100 名（要事前申込）
- 受講料／1 回 1,700 円（インターネットにて全 8 回一括申込の場合 12,000 円）
- 申込方法／立命館アカデミックセンター HP よりお申込みください。
- 申込受付期間／1 次募集：3 月 8 日（金）10:00～3 月 15 日（金）2 次募集：定員に達していない場合のみ受講日の 2 日前まで受付可です。
- 問合せ／立命館アカデミックセンター事務局 TEL.06-6360-4804（平日 10:00～17:00）
- 主催／大阪大学大学院文学研究科・立命館大学文学部・大阪大学 21 世紀懐徳堂

### 大阪・京都＜偉人伝＞古代・中世編ー

古代より宮都、寺内町、城下町、商都へと遍歴を重ねた大坂。千年の都として日本の政治・文化の中心地であり続けた京都。二つの大都市を抱える大阪・京都には、いまに語り継がれる歴史上の＜偉人＞が数多く登場しました。春期の講座は、大阪・京都にゆかりの深い古代・中世の＜偉人＞8 人に光をあて、その事績と実像に迫ります。歴史、文学、考古学の研究者の厳密な史料分析と透徹した目を通じて、通説や俗説とはまた違った臨場感あふれる＜偉人＞伝が語られることでしょうか。はるか昔からこの地で繰り広げられてきた人間ドラマに思いをはせながら、歴史の醍醐味を味わうひとときをお楽しみ下さい。コーディネーター：福永伸哉（大阪大学大学院文学研究科教授）、上野隆三（立命館大学文学部教授）

#### ●仁徳天皇ー御製に込められた黒日売（くろひめ）への思いー

藤原享和（立命館大学文学部教授）  
**5月13日（月）14:00～15:40**  
 受講料 1,700 円  
 仁徳天皇は美しい吉備の黒日売（くろひめ）を難波宮にお迎えになりましたが、日売（ひめ）は皇后の激しい嫉妬で追い返されてしまいました。皇后に「淡路島を見に行く」と偽ってまで吉備へ行幸された天皇は「吉備人と共にしめあげられたい」と黒日売（くろひめ）に詠みかけられます。この御製に込められた天皇のお心を探ってみたいと思います。

#### ●継体天皇ー王権の篡奪者が、政治変革の旗手かー

福永伸哉（大阪大学大学院文学研究科教授）  
**5月20日（月）14:00～15:40**  
 受講料 1,700 円  
 6 世紀初めに登場し、ヤマト政権の土台を固めた継体天皇。しかしその出自は謎に満ちており、地方豪族の勢力をバックにヤマト政権の王位を篡奪したとの見方も有力です。継体天皇の権力基盤や政治戦略を、考古学の成果を手がかりに、東アジアの視点で大胆に読み解きます。

#### ●紫式部ー『源氏物語』作者の《伝説》ー

川崎佐知子（立命館大学文学部教授）  
**5月27日（月）14:00～15:40**  
 受講料 1,700 円  
 滋賀県大津市の石山寺には、紫式部がその地で『源氏物語』を書きおこしたという言い伝えがあります。名高い「源氏の間」は、江戸時代にも、京の公家たちが憧れる観光名所でした。紫式部と『源氏物語』をめぐるさまざまな《伝説》にせまります。

#### ●行基ー天皇と民衆ー

若井敏明（関西大学・佛教大学・神戸市外国語大学講師）  
**6月3日（月）14:00～15:40**  
 受講料 1,700 円  
 奈良時代の僧侶のなかで多分一番よく知られているのが行基でしょう。彼が作ったという施設や寺院はいまでも人々に親しまれているものがあります。また東大寺の大仏造営に彼が協力したことも有名です。一方行基は一時の政府から弾圧されたこともありました。そのような人物がなぜ、国家の事業に関わることとなったのかを、大仏造営を始めた聖武天皇との関係から考えていきます。

#### ●後鳥羽上皇ー万能の君の蹉跎ー

美川圭（立命館大学文学部教授）  
**6月10日（月）14:00～15:40**  
 受講料 1,700 円  
 後鳥羽上皇は、政治、武芸、和歌、連歌、蹴鞠とあらゆることに優れた才能の持ち主でした。上皇のもとで朝廷は安定していました。しかも、頼朝死後の鎌倉幕府は内紛続き。これは倒幕も可能ではないか。上皇の自信過剰が朝廷史上最大の危機をまねきます。

大阪・京都文化講座 **検索**

### フリーペーパー「待兼山 PRESS」を発行しました！今回の特集は、「お宝発見！待兼山玉手箱」です。

- 豊中キャンパスにある貴重な「お宝」を誌上公開しました。
- 湯川秀樹博士の黒板：橋本幸士（理学研究科教授）
  - ペーゼンドルファー 1920：伊東信宏（文学研究科教授）
  - 月の石：寺田健太郎（理学研究科教授）
  - ジェミニノイド：石黒浩（基礎工学研究科教授）
  - 理学館ロビーの不思議を探索せよ：佐伯和人（理学研究科准教授）
  - ライオン型自動手指消毒：松村真宏（経済学研究科教授）
  - 扶氏戒戒之略：松永和浩（共創機構社会学共創本部准教授）
  - 宮本又次の絵：鈴木敦子（経済学研究科助手）
  - 65 年ぶりに発見された戦争遺跡 奉安庫



※「待兼山 PRESS」は、平成 30 年度豊中魅力アップ助成金交付事業として作成しました。発行：大阪大学 21 世紀懐徳堂 編集協力：株式会社エトレ

## 会社帰りにちょこっと寄り道。ラボカフェ

参加者が自由な議論を行う対話型プログラムです。

- 会場／アートエリア B1（京阪中之島線なにわ橋駅地下 1F コンコース）
  - 定員／各回により異なります。（当日先着順・入退場自由）
  - 問合せ／大阪大学 21 世紀懐徳堂
- TEL.06-6850-6443 info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp**

参加費 無料

### ●第 6 回接合科学カフェ

「君にぐるぐる 一溶かさない溶接ー」  
**3月28日（木）19:00～20:00**

物体をつなぎ合わせて製品や構造物を生み出す…。溶接に代表される接合技術は、社会を根底で支える技術です。同時に、人、モノ、世界、そして現代と未来をつなぎ合わせる、可能性に満ちた技術でもあります。伝統的で馴染みの深い技術でありながら、実は複雑で「未知」にあふれた領域。今回は、摩擦を使った新しい接合技術（摩擦撚接合、線形摩擦接合）について紹介します。材料を溶かさず接合できるこれらの技術は、接合後も強度を低下させることはありません。CO<sub>2</sub> の排出量も大幅に削減できる、未来の自動車、電車、橋梁などのモ

ノづくりについて語ります。定員：30 名程度 ゲスト／藤井英俊（大阪大学接合科学研究所 教授）カフェマスター／南 二三吉（大阪大学接合科学研究所 所長 教授） 主催／大阪大学接合科学研究所

### ●縄文触れる震える project 「産霊（むすひ）と結び 人と人をむすびあうモノ」

**3月31日（日）14:00～16:30**  
 去年の 11 月 23 日にサンカのイベントをしたコンビがまた登場します。今回はムスビという言葉からアニミズムを皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。ムスビの原型はムスビ。ムスビからムスコ、ムスメという言葉が生まれています。私た

ちがよく使う言葉で縁むすび。私たち日本人にとって、私たち地球人にとってムスビというのは何なのか？ 思考の渦に旅をしましょう。定員：50 名程度 ゲスト／浜本龍蔵（小説家）、本宮水（ナガ縄文楽会）カフェマスター／宮本友介（大阪大学人間科学研究科 / CO デザインセンター 教員）

2019 年 4 月以降の予定は随時 HP に掲載。  
 ラボカフェアートエリア B1 **検索**

主催／アートエリア B1【大阪大学+NPO 法人ダンスボックス+京阪ホールディングス（株）】  
 企画制作／大阪大学 21 世紀懐徳堂、NPO 法人ダンスボックス